

参考文献

この図表を使用すると、任意の高度および速度で落下を始めたときの任意の高度における気圧の第3温度補正量を求めることができる。なお、上昇のみの場合には、Fig. 3 からそのまま No. 5 を通過して No. 6 において、 $\Delta T_2$  と  $P$  とから  $\Delta P$  を求めることができる。以上のようにして求めた下降時における補正量は、下降開始高度、上昇および下降速度、高度などによって異なるが、7 mb 程度になることがわかる。終りに、いろいろとこの問題について討論に参加していた荒川、岡林の両氏に謝意を表する。

- 1) 鈴木ほか, 1952: CMO-S50 型ラジオゾンデの低温低圧検定結果について, 高層気象台彙報, 第5巻, 第4号, P. 344.
- 2) 鈴木ほか, 1953: ラジオ・ゾンデ箱内温度の遅れについて, 高層気象台彙報, 第5巻, 第4号, P. 352.
- 3) 石田恭市, 1964: U-D ゾンデによる高層観測について, 札幌府県予報区調査研究会資料(昭和38年度)
- 4) 木村ほか, 1963: ドロップ・ゾンデによる下層大気の測定, 天気, Vol. 10, No. 7, P. 1.

昭和39年度東北地方調査研究会

昭和39年度日本気象学会東北支部講演会

I 日 時 昭和39年10月27日 8時45分~28日12時  
 II 場 所 福島市湯野(飯坂温泉) 婦人会館  
 III 研究発表 10月27日, 10月28日

10月27日

1. 福島県の風について(暖候期の風)  
 福島 三瓶 次郎  
 阿部 豊
2. 農業気象観測における湿度の観測について  
 (湿度に関する一調査) 青 森 門脇 武夫
3. 盛岡の大気汚染(煙霧と視程)  
 盛 岡 岡部 通
4. 岩手県における日照率とその分布について  
 // 昆 幸雄  
 池田 誠也
5. 下北(田名部)の降水(第1報, 霧雨について)  
 田名部 二部 浜男
6. 伊南川の洪水予報について(第2報)  
 若 松 井上 健
7. 庄内浜の波浪(第1報) 酒 田 組谷 幸雄
8. 秋田における冬期・夏期気温ならびに積雪  
 の経年変化について 秋 田 渡部 貢
9. 秋田県の大雨に関連した二・三の調査  
 // 小林 一雄
10. 中間スケールの力学的解釈とその応用  
 仙 台 吉田 泰治
11. 放射を考慮した場合の  $\omega$ -方程式について  
 // 吉田 泰治

12. 新庄における雪の予報について  
 新 庄 後藤 義正
13. 対流圏上部の層厚移流と台風の移動(II)  
 仙 台 山下 洋
14. 梅雨前線豪雨の垂直構造について  
 山 形 島田 守家
15. 水面からの蒸発について  
 東北大・理 近藤 純正

特別講演

レーダおよび気象衛星資料による気象  
 じょう乱のメソ構造 気 研 渡辺 和夫  
 10月28日

16. 夏期における 850mb の特定温度と大雨・  
 雷・前線などの関係について  
 山 形 川添 信房
17. 春の異常乾燥時の最小湿度の予想について  
 福 島 酒井 一
18. 直達日射量の地域分布と最初の対流性  
 エコー 仙 台 菊池 徹夫
19. 水沢の日射量と地中温度  
 緯度観測所 後藤 進
20. 晩霜害年の群発性と晩霜害発生の地域差  
 盛 岡 梅田 三郎